

## 腹痛 ～こんな症状のときは～

★腹痛があるときは、A～Cの段階でチェックしてください。

**A**

- 身動きができないほど痛みが激しい
- みぞおち周辺に突発的な痛み
- 大量の吐血
- おなかが板のように硬い
- 便に血液が混じる
- 意識状態が悪い
- ひどく顔色が悪い



**B**

- だんだん悪くなる腹痛
- 黒色の便がつづく
- 尿や便がいつもと違う（色、回数）
- 痛みの場所が移動する
- 冷汗を伴う腹痛
- 悪寒を伴う腹痛
- はき気、嘔吐
- 食後にも続く胃の激痛
- 38℃以上の高熱

**必ず受診しましょう**

☀ 診療時間内に「かかりつけ医」「内科または消化器科」へ

🌙 急病診療所で受診  
津島市消防署、救急医療情報センターで医療機関を確認

**C**

- 腹が張った感じがする（膨満感）
- 便秘
- 便が緩い
- 空腹時に胃が痛む
- 発熱（37.5℃以上）
- 前から同じようにある腹痛

**早めに受診しましょう**

☀ 診療時間内に「かかりつけ医」「内科または消化器科」へ

🌙 翌日まで様子をみる  
痛みが悪化または継続する場合は、急病診療所で受診  
津島市消防署、救急医療情報センターで医療機関を確認

上のチェック項目に当てはまらない場合でも、救急車が必要だと思ったら、119番してください。

● 注意

- ・痛みがつらくて食べにくいときは、無理に食事をせず、水分だけ摂取するようにしましょう。
- ・痛みの場所と原因の場所が違う場合もあります。気になる場合は医療機関に相談しましょう。



## やけど ～こんな症状のときは～

★やけどをしたときは、A～Cの段階でチェックしてください。

**A**

- 体表面積の3割以上のやけど（乳幼児は体表面積の1割以上）
- 意識状態（呼びかけ反応）が悪い
- 呼吸の様子が普段と違う
- ひどく顔色が悪い
- 鼻や口にススがあり、息苦しい



**B**

- 顔、陰部、手のひらのやけど
- 手のひらよりも大きい範囲のやけど
- 水ぶくれや白い・黒い、やけど
- ひどく汚れのついた、やけど
- 微熱や高熱がある

**必ず受診しましょう**

☀ 診療時間内に「かかりつけ医」「皮膚科、形成外科、外科」へ

🌙 津島市消防署、救急医療情報センターで医療機関を確認し必ず受診

**C**

- 赤くなっているが、痛みが少ないやけど
- やけど後も、普段と変わりなく元気

**早めに受診しましょう**

☀ 診療時間内に「かかりつけ医」「皮膚科、形成外科、外科」へ

🌙 翌日まで様子をみる  
痛みが悪化または継続する場合は、津島市消防署、救急医療情報センターで医療機関を確認

上のチェック項目に当てはまらない場合でも、救急車が必要だと思ったら、119番してください。

● 注意

- ・やけどをしたら、早く応急手当をしましょう。
- ・まずは十分に冷やしましょう。（ただし、小さなお子さんは、冷やしすぎによる体温低下に注意しましょう。）
- ・服の上からやけどをしたときは、脱がせずに、そのまま冷やしてください。患部が服とくっついている場合は、無理にはがせずに受診してください。
- ・病院に行くときは、患部を軽くガーゼ等で覆う程度にしましょう。
- ・やけどの水ぶくれはつぶさずに、そのまま受診しましょう。

